

# テアトル萬代

“萬代橋”を中心として「港」と「大河」そして「都心軸」が会う場所

例えばバリのカフェで街行く人々を眺める。  
そこは街の小さな劇場空間である。  
萬代エリアで新潟市民の織り成す様々なドラマを眺める。  
新潟のいいところがそこにいけば味わえる。  
そんな場所が【テアトル萬代】なのです。



国交省跡地を皮切りに信濃川周辺の街区更新を機会と捉え、橋・川・まちの関係性を変えることで、新潟都心部の表舞台（＝テアトル萬代）をつくる。

## 1 萬代橋を中心として両岸に“気になる”場所をつくる 新潟の表舞台「テアトル萬代」

まずは市がシンボル空間形成の起爆剤となる公共空間を整備。  
国交省跡地や既存の他門川公園を種地として活用できる萬代橋の南側エリアから「テアトル萬代」を創り始める。

- ・橋や川を見渡すことのできる劇場の客席のような空間をつくる
- ・上映されるのは、新潟市民の生活風景

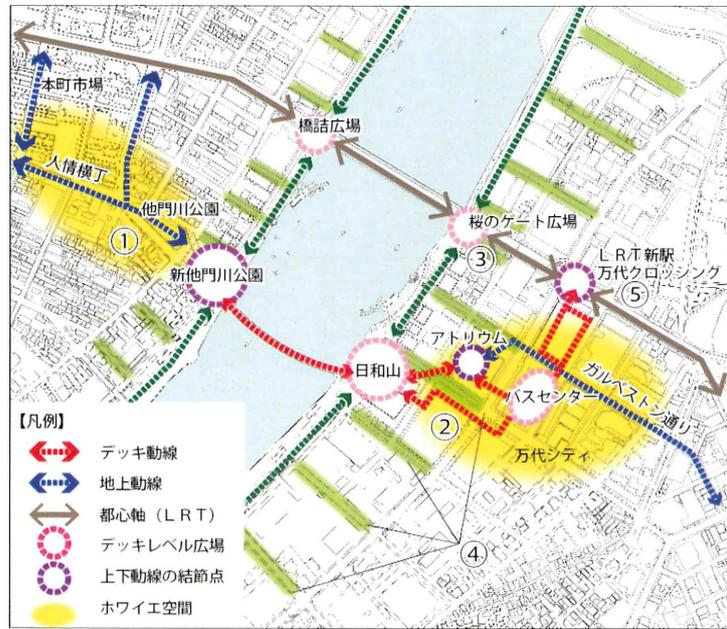
- ★ 萬代橋
- ★ 日和山
- ★ 新他門川公園
- ★ 川岸の小さなイベント空間



## 2 周辺のまちの“いいところ”とつないで絆を強める テアトル萬代とホワイエをつなぐ

新拠点群をきっかけに周辺のまちがそれぞれの特色を活かして連携し、周りの“いいところ”が川沿いに集まってくる。一方で“テアトル萬代”に集まる元気が益々周りを元気にする。

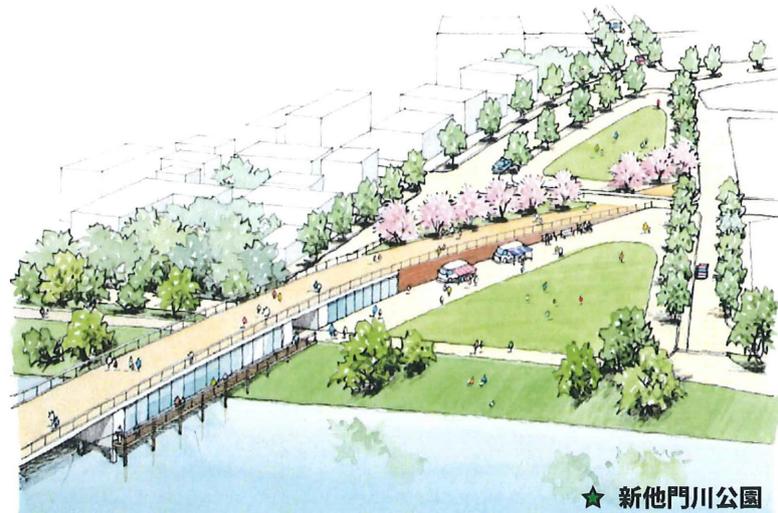
- ・既存のまちのにぎわい＝劇場空間のホワイエ
- ・デッキネットワークやLRTの駅からのアプローチを設える
- ・歩道拡幅+街路樹により信濃川沿いの緑空間をまちに引込む



## 3 長い時間をかけてシンボル空間を育てていく 市民が育てるテアトル萬代

愛着をもった市民の自発的な活動により、シンボル空間を皆で大事に育てていく。

- ・周辺の街並みを萬代橋や信濃川の景の「舞台背景」として設える
- ・「テアトル萬代推進協議会」でまちの将来を話し合い、協力して具体化していく
- ・まちづくり会社を設立し、日和山・テアトル萬代の運営・管理を担う



★ 新他門川公園



★ 日和山